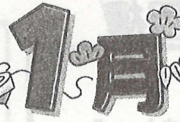




# 長房小だより



No.846

令和5年度(2023年度)  
令和6年1月9日発行  
八王子市立長房小学校  
校長 川村 和人

ホームページに子どもたちの様子を公開しています

## 令和6年(2024年)の初めに

校長 川村 和人

謹んで新年のご挨拶をさせていただくところではありますが、先ずは、元日の夕刻に発生した石川能登を震源とする大地震により被災された方々に、哀悼の意とお見舞いを申し上げます。自然の猛威と恵みは人知を超える存在であることを強く感じていますが、今後も避難訓練のたびに「災害はいつでもどこで起こってもおかしくない。自分の命は自分で守る行動をする。」と、子どもたちに防災意識を高める指導を継続いたします。

さて、令和6年元日も、長房の街並みと学校が視界に入る、桜台公園近くの新たな町が誕生する丘の上から日の出を待っていました。朝日の光に照らされた山や街が徐々に赤く染まる姿は、素直に自然の美しさや豊かさへの尊厳を感じざるを得ない瞬間だと思います。令和6年(2024年)の干支は、「甲辰」(きのえたつ)で、少し調べてみました。

【本来の干支とは「十二支(じゅうにし)」と「十干(じっかん)」を組み合わせたものでした。十二支とは時間を表し、12種の動物を当てはめ、空間を表す十干の10の要素を加えたのが、六十干支(ろくじっかんし)といい、60年で一巡するとの考え方です。「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。中国伝来の十二支では、辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だと言われています。また、たつ(竜、龍)は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、古代中国の神話で神獣とされておられ、皇帝のシンボルとなっています。

そして、日本において60年前の「甲辰」(きのえたつ)には、東京オリンピック開催、東京モノレール開業、東海道新幹線開業、日本武道館開館、太平洋横断ケーブル開通など、日本と世界の人々が国境を越えて行き来し、新しい技術が広く使われるようになった出来事が多くありました。つまり、変化と発展への準備した結果が実を結ぶ年となります。】という内容です。

そこで、【一年の計は元旦にあり】のごとく、令和6年度に向けて、これまでの長房小学校としての教育計画の柱をさらなる充実と定着させるべく、ご紹介させていただきます。これは、八王子市教育委員会としての方針を受けての取組となるとともに、学校運営協議会との協議を経て、最終決定をいたします。児童が、未知の状況や今後経験したことのない大きな変化に直面する際に必要となる、柔軟かつ適切な対応力と問題解決しながら、たくましく生き抜いていく力を育成するために、以下の柱を重点としていきます。

◎義務教育9年間を見通した小中一貫教育のために長房中学校グループにおいて、9年間で育てたい児童・生徒像として、「主体的に考え、判断し、正しい行動ができ、心身共に豊かな生活を送ろうとする子」を設定し、「学習を大切にしている子」「自他を大切にしている子」「体を動かすことを大切にしている子」を目標に、義務教育修了後「社会の中でよりよく生きようとする子」の育成をめざし、一層の連携を図る。そのために、地域と合同の地域清掃活動や地域推進会議と協働した「地域を学び、地域人材から学ぶ」をテーマにしたキャリア教育や生命(いのち)の安全教育等の活動を行う。

◎GIGAスクール構想の推進による誰一人取り残さないICTを活用した教育の実践を踏まえた定着を図りながら、指導と評価の一体化に基づいた、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。

◎地域や家庭との連携を通して生活指導上の課題や情報を共有し、全児童の安心安全な学校生活のための環境整備やいじめの防止、不登校児童の個々の状況への必要な支援を行う。そのために、自分の大切さと共に他の人の大切さを認めるという人権尊重の理念に基づき、「言われてうれしい言葉をつかい、みんな仲良く助け合う児童を育てる。」の方針から、主体的に考え、判断し、正しい行動ができ、心身共に豊かな生活を送ろうとする児童を育てる。そのために、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、「あいさつ・集中して話を聞く・時間を守る」等の規範意識を育て、次に使う人や相手の気持ちを考えた集団生活の基本ルールやマナーを徹底する。

私は校長として、教員同士、保護者・地域が互いに根気・やる気・勇気などのエネルギーを、子どもたちに与えられる学校にしたいと思っております。子どもも大人も様々な視点から成長を具体的な言葉で伝えられ、励まされることは心の中に計り知れない喜びと充実感があふれます。今後も子どもたちの笑顔があふれ、充実した学校生活が送れますよう、保護者・地域の皆様にも、より一層本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

